

◆ 水土里情報システムの活用方法について

～ システムの利活用による農業農村整備事業等の推進 ～

通常管理

現状把握

- 管理施設の把握（*管理者：市町村、土地改良区）
 - ・用水路（パイプライン、開水路、揚水機場、付帯施設等）
 - ・排水路（開水路、排水機場、付帯施設等）
 - ・農道 ・その他施設等 土地（農地）
- *土地改良法第2条、3条、16条、17条

現状管理

- ・施設の補修及び改修の履歴
- ・土地（農地）
- ・住民又は農家からの問合せ

左記内容を、水土里情報システムに登録管理（ユーザ側も可）ができるため、さらなるシステムの充実が図られる。



上記整備を実施している事例

- ・管理者（市町村、土地改良区）からの委託整備
- ・農山漁村地域整備交付金（公共）
- ・緊急雇用対策創出事業（県、市町村）等…

相互活用・整備及び充実

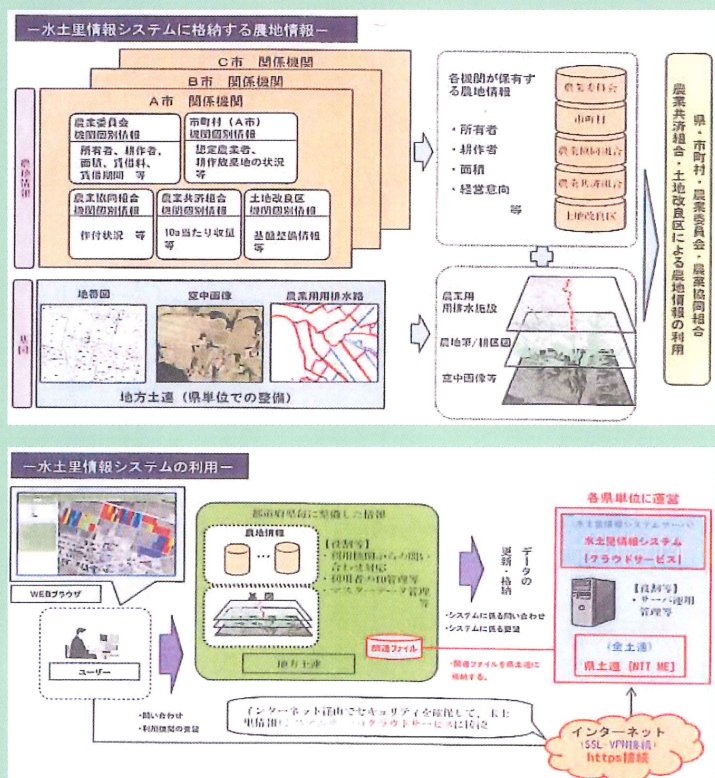
水土里情報システム

○農地筆、耕区、地形図、オルソ画像、農業用排水路施設の整備

○上記整備の補助事業（平成22年度まで）

- ・水土里情報利活用促進事業
- ・食料供給基盤保全管理対策支援事業

※市町村、農業委員会におけるGISシステムとの連携も可能





利活用により大きな効果発現

更新・改修計画の策定

具体的案件

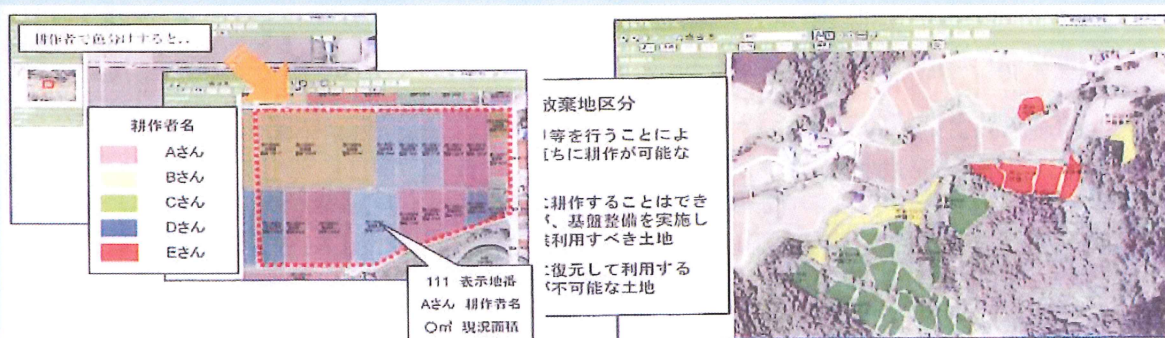
- ・地域の整備計画の策定
(各種計画策定に利活用可能)
- ・計画調査事業
- ・事業地区内の受益地の確認に活用
- ・営農計画策定及び確認

<更新、整備事業(新規)>

- ・農業農村整備事業(全般)
- ・農業水利施設ストックマネジメント事業
- ・農地水環境保全向上対策(平成23年度から、施設の長寿化の為に活動への支援)

<その他事業>

- ・農業農村整備事業におけるソフト事業
- ・農振整備計画
- ・戸別所得補償
- ・耕作放棄地対策
- ・鳥獣害対策等…



★水土里情報システムの利活用について

平成21年度

- ・調整水田全筆調査の現地調査図にて活用 (本庄市、吉川市他)
- ・耕作放棄地、学校、畜産農家等位置入力 (埼玉県)

平成22年度

- ・戸別所得補償現地確認用図面にて活用(行田市、熊谷市、羽生市他)
- ・衛星画像を活用した損害評価方法の検討にて利用(農業共済連)

平成23年度

- ・ねぎ作付実態現地調査に活用 (埼玉県生産振興課：深谷市、熊谷市他)
- ・農業水利施設情報データの整備(埼玉県農業農村計画センター)
- ・戸別所得補償現地確認用図面にて活用(加須市、春日部市、吉見町他)

★利活用にむけての手続き

- ・水土里情報システムの本格運用開始・・・平成23年9月から
- ・利活用申込み・・・・・・・・・・所定様式にて申込み
- ・利活用契約書の締結
- ・利活用者の権限及び利活用の範囲の確認
- ・利活用経費については、契約書に定める金額にて請求

お問い合わせは・・・



埼玉県土地改良事業団体連合会 水土里情報課

<http://www.saidoren.or.jp> TEL: 048-530-7360